

(別添4)

【日の出町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

ICTを「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かすとともに、従来は伸ばせなかった資質・能力の育成や、これまでできなかった学習活動及び家庭等学校外での学びを充実させる。また、端末の活用を「当たり前」のこととし、児童・生徒自身がICTを自由な発想で活用するための環境整備を構築する。

ICTの特性を最大限活用し、特別な支援が必要な児童・生徒に対するきめ細かな支援等、多様な学びの機会を提供するとともに、ICTの活用と少人数によるきめ細かな指導体制の整備を両輪とした、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度に1人1台端末を導入し、各校において、調べ学習における情報の検索、双方向コミュニケーションツールによる情報共有、文書作成機能や動画撮影機能の活用など、教科等の特質に応じた活用が進められてきた。

一方で、GIGAスクール構想に基づく校内LANの整備を完了（校内LAN整備の標準的な仕様）していたが、学級内で同時にパソコンを接続すると通信環境に負荷がかかり、数人の通信速度が遅くなったり途切れてしまったりする問題が見られたため、学校における1人1台端末の日常的使用が進まず、1人1台端末の使用頻度の低さに課題があった。令和6年度には、全校のAPの増強工事を行い、校内における通信環境が改善したことで、1人1台端末の使用頻度も向上した。

（「日の出町教育ビジョン2023推進計画」情報活用能力向上に資するICT環境の整備、ICTを活用した授業の実施 令和6年度計画「全学年実施」概ね達成）

3. 1人1台端末の利活用方策

ICTを活用しながら個別最適な学び・協働的な学びを実現し、多様な他者とともに問題発見・解決に挑む資質・能力を育成することや、多様な教育的ニーズに応じた教育の質と機会均等の確保が求められており、以下に記載の事例のように1人1台端末の利活用を推進する必要がある。そのため、端末の整備・更新により、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末環境を引き続き維持していく。

- 児童・生徒における習熟度に応じた電子ドリルの活用
- 個別の目標に基づく学習活動の共有、参照、協働編集
- 学習の成果等の発表、表現
- 別室、自宅等からアクセスできるオンライン授業の配信
- 同時翻訳機能を活用した日本語支援